

Build Live Tokyo 2010 課題

実務クラス

2010年10月13日

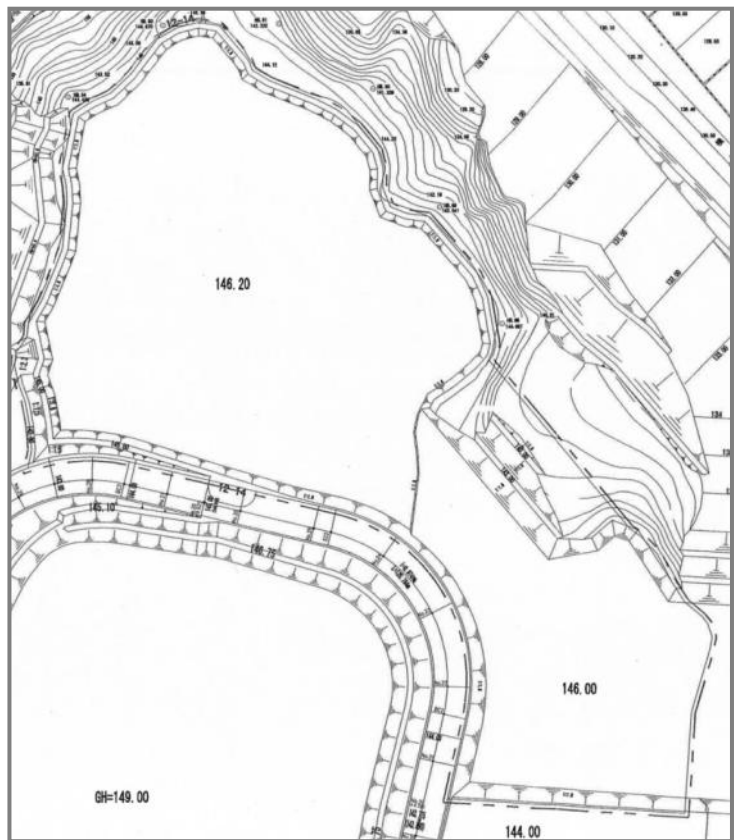
Build Live Tokyo 2010 の実務クラスの課題は以下です。

追加、補足情報等があれば、公式 Blog (<http://bltokyo2010.seesaa.net/>) にて順次公開しますので、参照してください。

1. 敷地

本所在地: 東京都八王子市七国一丁目 30
右図の二点鎖線内側の実線が敷地境界線 (参考)。

※競技に使用する3次元敷地モデルはデータ共有サイトで公開。3次元敷地モデルの敷地境界を正とする。



2. 全体コンセプト

八王子みなみのシティは東京都長期計画および八王子市基本構想・基本計画等に基づき、「都市の自立性の向上」と「緑豊かな自然と調和のとれた市街地の形成」を図るため、都市再生機構が土地区画整理事業 (南八王子土地区画整理事業) により整備を進めています。

誘致施設等用地 (計画敷地は、八王子みなみのシティ地区の「誘致施設等用地」です)

この用地は、「八王子・立川・多摩業務核都市基本構想」(平成14年東京都)により業務施設集積地区に位置付けられています。ここでは、複合多機能都市の形成をめざし、企業の研究所・研修所の立地をはじめ、生産機能を持った施設等、多様な施設の立地を図ります。

(都市整理機構パンフレットより)

3. 施設内容、規模など

「人が集い」、「メディア芸術に触れ」、「子供たちの創造力を育む」場となる施設、「メディア芸術センター」（以降、センター）の建設を計画する。

- センターは、以下の機能を有する。
 - 収集・保存・修復、展示、調査研究、情報収集・提供、教育普及・人材育成、近隣住民との連携
- 配置する施設と所要スペース
 - 全体の床面積は、約 16000 m²とし、下表に示す主要施設を設ける。
 - 区分内の部屋割りは提案者に委ねる。複数棟での計画も可とする。
 - 廊下、便所、機械室、シャフトなどは提案者に委ねる。

	区分	所要面積[m ²]	備考
展示関連施設	収蔵庫	約1600	メディア芸術作品の収蔵に適した環境の収蔵施設とする。面積には、収蔵品の修復などのスペースを含む
	展示室	約5000	常設展示、企画展示、貸出しなどを複数同時開催でき、展示規模・内容に弾力的に対応可能とする。所要面積には、準備室等の展示支援スペースを含む
	多用途ホール	約300人収容 約100人収容	大小2か所。上映・各種催事など多用途に使用でき、字幕・副音声に対応した設備を準備する
	ライブラリー	約400	インターネット検索コーナー、図書閲覧等に使用するスペースで、図書等の保管スペースを含む
	搬入・搬出場	適宜	大型作品の搬入・搬出に対応できる
研究・会議・事務	教育・研究	約800	研究者の研究室、工房、ワークショップ等に利用できるスペースを準備する
	会議室・研修室	約500	研究者等が様々な用途に使えるように配慮する
	事務室	約400	事業部門、管理部門等
飲食・物販	レストラン・カフェ・売店等	適宜	センター内常駐者、来場者のための施設である。面積には厨房、食品庫等を含む
地域施設	集会・会議室	約500	市民のための参加、体験型施設
その他	機械室等	適宜	空調機械室、電気室、総合監視室等
	その他	適宜	サロン、廊下等の共通スペース
合計		約16000	
屋外	駐車場		適宜
			屋外展示等

- 計画時の留意事項
 - 境問題への配慮を重視した施設とする。
 - ユニバーサルデザインとする（外国人、障がい者、高齢者等に配慮）
 - 情報ネットワーク環境の充実した施設とする
 - センター内常駐者、入場者、作品の搬入・搬出動線、エレベータ、作業スペースに留意する。

4. 法規

建築基準法および当敷地に適用される建築関連法規・条例に従うこと。

- 用途地域 準工業地域
- 容積率限度 200%
- 建蔽率限度 60%。地区計画により 40%（ただし、面積が 1ha 未満の建築物の敷地については 50%）
- 地区計画 南八王子地区 地区計画（ただし「建築物等の用途の制限」の「9 劇場、映画館、演芸場又は観覧場」は免除）

本課題の作成に当たり、文化庁ホームページで公開されている「国立メディア芸術総合センター（仮称）基本計画（平成 21 年 8 月）」を参考とし、引用しました。

本課題は Build Live Tokyo 2010 に向けた仮想のものであり、実在する敷地の計画とは無関係です。

連絡先

IAI 日本 事務局 <http://www.iai-japan.jp/>

Build Live 事務局

mail : BuildLive@iai-japan.jp

※Build Live は IAI 日本の登録商標です